

先端農業機械論（水稻収穫乾燥調製）実習を行いました

9月25日（金）に、1年生全員が庄原市口和町の（農）ファーム永田において、収穫と乾燥調製の実習を2班に分かれて行いました。直前まで雨が降っていたため、実際に収穫は行わず、コンバインの操作方法についての研修に変更になりました。

午前は、永奥代表理事より刈取・乾燥・粃摺り・選別・計量の知識について、（株）中四国クボタの方より自動運転アシスト機能が付いたコンバイン、水稻の倒伏具合等の状態に合わせた収穫作業方法について講義を受けました。

午後は、法人の圃場においてコンバインの操作研修と乾燥調製施設の見学を行いました。

春には田植え作業を行いましたが、コンバイン操作も初めての学生が多く、自動運転アシスト機能が付いたコンバインの特徴や操作方法について説明を聞いた後に、実際に機械に乗り、最新の機械の作業性について体感しました。また、乾燥調製施設では、収穫後の乾燥調製から出荷までの流れについて学びました。



収穫作業についての講義



自動運転アシスト機能付きコンバイン



コンバインの基本操作方法について学ぶ